

わんぱく学校「いいやま合宿」を実施しました

3年ぶりに「いいやま合宿」が、国分寺市の友好都市である長野県飯山市の鍋倉高原で実施されました。わんぱく学校生 32 名、青少年地域リーダー14名の参加があり、森の恵みや自然の豊かさ、仲間の良いところ、飯山市の良さの発見を目的に、8月19日から21日まで2泊3日の合宿を行いました。

◆1日目：ラフティングとキャンプファイヤー

ラフティングは、スタート地点でスタッフから説明を受け7艇に分かれて次々出発しました。途中ボートから川に飛び込み、川遊びを楽しみました。



▲ラフティング



▲キャンプファイヤー

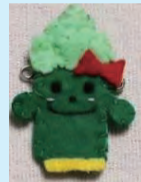
夜には満天の星空の下でキャンプファイヤーを行い、わんぱく学校長（教育長）から各班長へ分火され、また一つになった火を囲みながら仲間との時間を過ごしました。

◆2日目：ウォークラリーと草木染

ウォークラリーでは7つのチェックポイントで、飯山クイズに答えながらブナ林を歩きました。途中で雨が降り出しましたが、雨の森の様子やブナの木肌を流れる雨水など様々な発見がありました。



▲ウォークラリー



▲わんぱく賞



▲ゲームに挑戦中

草木染は、染料となるアカソやワラビの採集から始まりました。空気に触れる時間の長短で微妙に色が変わり、糸の縛り方の違いでオリジナルの作品ができました。



▲草木染完成！



▲草木染製作中

◆3日目：間伐体験

スタッフの説明を聞きながら、大きな枝も力をあわせて挑戦し、間伐の意義、大切さを学びました。自然の木をノコギリで伐採する貴重な体験ができ、生き生きと取り組んでいました。また、クロモジなど樹木の名前も覚えめました。



▲間伐体験

千曲川でのラフティング、キャンプファイヤー、森の中のウォークラリー、草木染、間伐体験と毎日発見がありました。

飯山市の自然豊かな中で宿泊班、活動班と2つの班で活動し、仲間の良いところもたくさん発見できたと思います。わんぱく学校の目標である「連帯」「創造」「実践」を達成することができました。

問合せ 社会教育課 ☎ (042) 574-4044

学ぶ・つながる ～公民館事業・講座紹介～

16ミリフィルムの魅力に触れよう

恋ヶ窪公民館には、16ミリ映写機があります。16ミリフィルムの映像はあたたかみがあり、独特の味わいがあるように思います。この夏、その16ミリ映写機を使ったイベントを開催しました。

一つは、5小、9小の「サマースクール」での映画会。当日は、映画の間にゲームで楽しみながら、16ミリフィルムの映画を見ました。16ミリ映写機のしぐみに興味のある子もいて、映画会が終わってから、16ミリフィルムを巻き戻すようすを見たり、音の出るしぐみについて質問する子もいました。



もう一つは、「16ミリフィルム 子ども上映会」。あまり見ることのない16ミリフィルムの映画を、親子いっしょに見て楽しんでもらいました。今年度は、公民館に来たことのない方にも公民館を知ってもらう機会にできればと思い、内藤・北の原地域センターでも開催しました。こちらでも、映画を楽しんでもらうだけでなく、めずらしそうに16ミリ映写機を見つめる子どもがいました。

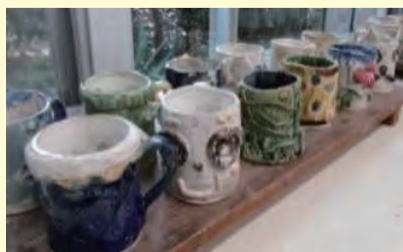
どのイベントも好評でした。今後も16ミリ映写機を用いたイベントを続けていく予定です。また、これをきっかけに、みなさんに公民館を身近に感じてもらえたらと思います。

問合せ 公民館課（恋ヶ窪） ☎ (042) 324-1926

地域還元講座「つくってたのしい子ども陶芸教室」

5館ある市の公民館の中で唯一「陶芸窯」のある並木公民館で行っている「子ども陶芸教室」は、非常に人気が高い講座です。

この講座は、並木公民館で活動している陶芸グループの方が講師となり、何を作ったら楽しいか、分かりやすく伝えるためにはどうしたらよいか、子どもたちが頭の中に描いている色を出すにはどのように釉薬を掛ければよいかなど、経験の中から考えて工夫しています。



今年度は、小学校2年生から5年生まで24人が参加し、マグカップを作りました。

模様を立体的に作ることに挑戦し、個性豊かな作品が数多くできました。

「自分のデザインで形を作ることが楽しかった」、「色つけや、模様のハンコを押すことが楽しかった」など、陶芸の魅力を十分に感じていたようでした。「教えてもらいながらお話ができたことが楽しかった」と交流の場にもなったようでした。

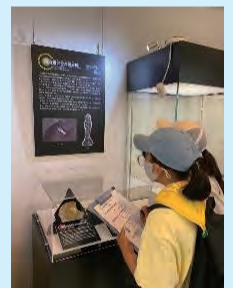
問合せ 公民館課（並木） ☎ (042) 321-9971

わんぱく学校「史跡ウォークラリー」

武蔵国分寺跡が国史跡の指定を受けてから100周年を迎えたことから、6月12日に史跡ウォークラリーを実施し、国分寺史跡について学びました。



▲国分寺薬師堂



▲武蔵国分寺跡資料館



▲わんぱくニュースの作成

当日は、国分寺史跡にゆかりのある地を班ごとで回り、郷土について理解を深めました。最後にはわんぱくニュースを作成し、班ごとに学んだことを発表しました。

問合せ 社会教育課 ☎ (042) 574-4044

国分寺市の文化財

～伝鎌倉街道～

武蔵国分寺の北に、切り通し状の道が約120m残されています。鎌倉街道であると伝えられてきたことから、市重要史跡に指定されています。鎌倉幕府は関東の有力御家人の領地と鎌倉をつなぐ交通網を整備しました。史料によって、国分寺市内を鎌倉街道の上道（かみのみち）が通っていたことが推定されています。

鎌倉幕府創設期に、武将の畠山重忠（はたけやましげただ）が秩父付近の本拠地との往復に使ったのもこの道でした。



問合せ ふるさと文化財課 ☎ (042) 300-0073